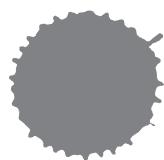


2020

# 大学院ハンドブック



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 大学院

芸術研究科(通信教育)

## 社会人と芸術のあらたな関係を目指して

芸術活動には普遍的な価値の創出と伝達という性格だけでなく、それに携わる個々の人間の感性の洗練と技術の追究というきわめて個別的な性格も存在しています。そのため、近年では、経済や文化の汎地球化の流れが強まる中で、それに抗するかのように地域性を強調する流れも生まれています。しかし本来の芸術制作はグローバル対ローカルという単純な対立にはおさまらず、そもそも個性・地域性と普遍性・世界性を共存させるところに大きな意味があります。

そのことを踏まえ、京都芸術大学大学院（通信教育）では、今日の情報化社会において個々の人間や地域の環境が芸術活動にとっていかなる意義を有しているのか、またその活動環境を作り育てることはいかにして可能なのかを実践的に研究します。これは自分のフィールドに根ざして制作や研究を続ける学生にこそ有利な専門分野であり、通信教育という手段を通じて学生個々の制作・研究と相互の交流の双方を実現しようとするものです。

そのため、本研究科の芸術環境専攻には次の4領域と、領域をまたいだ超域プログラムが設けられています。すなわち、地域環境における芸術についての比較文化史的研究と制作・教育活動を探究する芸術環境研究領域、地域に根ざしつつ作品という独特の場を発生させる美術・工芸領域、地域での自然と人間の関係を具体的な空間という形で考究する環境デザイン領域、それぞれの生活環境や仕事の間をデザインの力で改善する方法を探究する学際デザイン研究領域、そして制作行為によって社会に強く関与しようとする超域プログラムです。

本研究科の目標は、これらの領域で研鑽をつんだ学生たちが、それぞれの活躍する場でさまざまな形の芸術環境という花を咲かせ、それぞれがお互いを模範として、またあらたな芸術の種を蒔いてゆくことにほかなりません。これからの芸術運動の担い手となるべく、ぜひ本学での研究制作に参加してください。

# 目次

3つのポリシー .....	2
1. 学習を進めるにあたって .....	3
2. 科目一覧 .....	4
3. 修了要件、修了研究・修了制作着手要件 .....	7
4. スクーリング日程 .....	9
5. 学位審査 .....	12
6. 資格課程 .....	24
7. 学習に関する質問方法 .....	28

## DP(ディプロマ・ポリシー)

修士課程では、芸術・文化に関する広範で清新な知識を基礎にして、社会や自然における芸術の意義と役割を認識するとともに、個別の専門領域において発見した独自のテーマを柔軟かつ論理的な思考によって展開し、高度な成果物として表現できる人材を育成します。

さらに、学位の種別に応じて、次の能力の獲得を目指します。

- ・既存の価値観にとらわれることなく、新たな視点による学際的研究に取り組み、その成果を学術論文としての的確にまとめる能力（「修士（学術）」授与の場合）。
- ・自己と他者、芸術と社会、個と全体の関わりについて真摯に向き合い、高度な意志疎通能力と呈示能力を備え、作家、研究者などの専門的職業人や芸術的手法を駆使する社会人として、芸術分野の将来的発展に寄与する能力（「修士（芸術）」授与の場合）。

## CP(カリキュラム・ポリシー)

修士課程（通信教育）のカリキュラムは、ディプロマポリシーを達成するために「専攻共通科目」「分野特論」「研究指導科目」で構成されています。

- ・専攻共通科目では社会や自然における芸術の意義についての認識を獲得します。
- ・分野特論では、専門分野に関する知見を深め、研究制作を行うためのさまざまな技能や方法を身につけます。
- ・研究指導科目では独自性ある研究制作を自律的に遂行し、明瞭な形で呈示する能力を身につけます。

## AP(アドミッション・ポリシー)

修士課程（通信教育）では、さまざまな職業、経験を持ちながら、本学で芸術に関わる専門性を深め、社会で活動してゆく意欲を持った方の入学を期待しています。そのため入学者の選考にあたっては特に以下の点を重視します。

- ・自他を尊重しつつ意見を交わしながら制作研究を続けられること。
- ・芸術に関し修了研究・修了制作を遂行するのに必要な専門的な能力を身につけていること。
- ・修士課程（通信教育）の教育目標や授業形態を十分に理解していること。

# 1.学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、『学習ガイド』もあわせて参照してください。

## (1) 履修形態

▶『学習ガイド』pp.11～13参照

通信教育における開講科目は「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。具体的な科目形態は以下のとおりです。

テキスト科目	TX	テキスト特別科目	自宅学習	科目ごとに提出期間が定められている科目
スクーリング科目	WS	Webスクーリング科目	自宅学習	Web上での動画学習とレポート試験があり、レポート試験提出期間、全体講評視聴期間が定められている科目（申し込みは不要）
	SR	スクーリング演習・研究科目	対面授業	スクーリング申込せずに履修できる科目
	S	スクーリング科目	対面授業	スクーリング申込の必要がある科目

※上記以外の科目形態としてTR科目、TW科目、GS科目がありますが、大学院科目として該当科目はありません。

※WS科目は単位修得しても、修了要件の単位としては認められません。

## (2) TX科目・WS科目の履修期間・課題提出期間

▶各科目のシラバスを参照

それぞれ3ヶ月のタームで「春期・夏期・秋期・冬期」の履修の区切りがあります。各科目の具体的な履修期間、課題提出期間については各科目のシラバスを確認してください。課題の提出期間やWS科目の全体講評の視聴期間は各自で管理してください。

万一、下記の表に示されたスケジュールに変更が生じたときは、airUマイページ>「お知らせ」等で周知します。

課題提出スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TX	テキスト特別科目		課題 11～20			課題 11～20			課題 11～20			課題 11～20	
WS	Webスクーリング科目	動画視聴	レポート 21～28	全体講評 13～20	動画視聴	レポート 21～28	全体講評 13～20	動画視聴	レポート 21～28	全体講評 13～20	動画視聴	レポート 21～28	全体講評 13～20

修了判定にかかる方は修了関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

## (3) 課題提出方法

▶『学習ガイド』pp.33～36参照

科目により、「airUのみ」「airUと郵送・窓口」「郵送・窓口のみ」があります。締切日当日の課題締切時刻は提出方法により、airUは13:00大学サーバー着信分まで、郵送は本学に必着、窓口は当日受付時間17:00までに提出と決まっています。

## (4) スクーリング科目(S)の申込方法・キャンセル

▶『学習ガイド』pp.49～56参照

スクーリング科目(S)の申し込みは3ヶ月ごと（年4回）に先行募集を行います。受講予定のスクーリングは先行募集で申し込むようにしてください。なお、スクーリング受講申込用紙は大学から送付しませんので、申込期間にairUマイページまたは『学習ガイド』p.207の書式を利用して申し込んでください。定員に空きのある科目についてはスクーリング開講の30～5日前まで追加募集を行います。また、受講許可後からキャンセル時期により10～100%のキャンセル料がかかります。詳細は『学習ガイド』pp.55～56を確認してください。なお、スクーリング演習・研究科目(SR)については申し込みを行う必要はありません。

＜スクーリング申込スケジュール＞

開催期	申込方法	スクーリング申込期間	申込結果公開日(受講許可日) Web・郵送・窓口申込とも
春期 (4～6月)	先行	3月26日～3月30日	4月9日13:00
	追加	4月11日～開講30～5日前	受講許可後、随時
夏期 (7～9月)	先行	5月16日～5月25日	6月6日13:00
	追加	6月10日～開講30～5日前	受講許可後、随時
秋期 (10～12月)	先行	8月17日～8月25日	9月7日13:00
	追加	9月10日～開講30～5日前	受講許可後、随時
冬期 (1～3月)	先行	11月17日～11月25日	12月7日13:00
	追加	12月10日～開講30～5日前	受講許可後、随時

- ・ Web申込は申込開始日13:00から申込締切日13:00大学サーバー着信分まで
- ・ 郵送申込は締切日【必着】※消印不可 ・ 窓口申込は締切日窓口受付時間まで
- ※申込結果は、Web申し込みはairUマイページから、「申し込み状況／受講票」を確認、印刷できます。
- 郵送・窓口での申し込みの場合は、「受講申込結果通知及び受講票」を郵送します。

# 2.科目一覧

●:必修科目 ○:いずれか選択必修

TX:テキスト特別科目

S:スクーリング科目

SR:スクーリング演習・研究科目

WS:ウェブスクーリング科目

科目群	配当年次	科目コード	科目名	開講区分	単位数	芸術環境研究領域										美術・工芸領域				環境デザイン領域				超域プログラム			※6 学際デザイン研究領域	備考	
						2019年度以降入学者 比較芸術学分野	2018年度以前入学者 比較芸術学分野	文化遺産・伝統芸術分野	2019年度以降入学者 文化遺産・伝統芸術分野	2018年度以前入学者 文化遺産・伝統芸術分野	地域文化デザイン分野	2019年度以降入学者 芸術環境計画分野	2018年度以前入学者 芸術環境計画分野	2019年度以降入学者 芸術教育分野	2018年度以前入学者 芸術教育分野	日本画分野	洋画分野	陶芸分野	染織分野	(2019年度以降入学者) 建築デザイン分野	(2018年度以前入学者) 建築デザイン分野	日本庭園分野	千住ラポ	小笠原ラポ	後藤ラポ				
専攻共通	1年次~	30616	芸術環境論特論 I	TX	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	いずれか1科目を 選択必修	
		30617	芸術環境論特論 II	TX	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
		30602	芸術環境原論 I	TX	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
		30603	芸術環境原論 II	TX	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
分野特論	1年次~	30621	芸術環境特論 I-1	TX	2	●	●	●	●		●																	※5  【2018年度以前の 入学生】 比較芸術学分野、 文化遺産・伝統芸術 分野、芸術環境 計画分野は「芸術 環境特論II-1~10、 V-1~10」「芸術環 境特論I-3」を含め た「○」から4単位 を選択必修	
		30622	芸術環境特論 I-2	TX	2	●	●	●	●		●																		
		30631	芸術環境特論 I-3	TX	2	●	○	●	○		○																		
			芸術環境特論 II-1 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-2 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-3 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-4 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-5 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-6 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-7 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-8 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-9 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			芸術環境特論 II-10 ※2018年度まで開講	S	2		○		○		○																		
			30091 芸術環境特論 V-1	S	1	○	○	○	○		○																		
		30092 芸術環境特論 V-2	S	1	○	○	○	○		○																			
		30093 芸術環境特論 V-3	S	1	○	○	○	○		○																			
		30094 芸術環境特論 V-4	S	1	○	○	○	○		○																			
		30095 芸術環境特論 V-5	S	1	○	○	○	○		○																			
		30096 芸術環境特論 V-6	S	1	○	○	○	○		○																			
		30097 芸術環境特論 V-7	S	1	○	○	○	○		○																			
		30098 芸術環境特論 V-8	S	1	○	○	○	○		○																			
		30099 芸術環境特論 V-9	S	1	○	○	○	○		○																			
		30100 芸術環境特論 V-10	S	1	○	○	○	○		○																			
	2年次 1年次~		30614	芸術環境特論 III-1	TX	2					●		●	●														芸術教育分野、芸術 環境計画分野のみ履 修可 ①2018年度までに 「芸術環境特論IV-1」 を修得済みの場合は 履修不可 ②2018年度までに 「芸術環境特論IV-2」 を修得済みの場合は 履修不可 ③2018年度までに 「芸術環境特論V-1」 未修得の方でかつ 「芸術教育士」資格取 得希望者はいずれか を履修すること	
		30615	芸術環境特論 III-2	TX	2					●		●	●																
			芸術環境特論 IV-1 ※2018年度まで開講	S	2							●																	
			芸術環境特論 IV-2 ※2018年度まで開講	S	2							●																	
			芸術環境特論 V-1 ※2018年度まで開講	S	2								○																
			30101 芸術環境特論 VI-1	S	1					●		●	①																
			30102 芸術環境特論 VI-2	S	1					●		●	②																
			30103 芸術環境特論 VI-3	S	1					●		●	③																
			30104 芸術環境特論 VI-4	S	1					●		●	③																

科目群	配当年次	科目コード	科目名	開講区分	単位数	芸術環境研究領域								美術・工芸領域				環境デザイン領域		超域プログラム			※6 学際デザイン研究領域	備考																
						2019年度以降入学者 比較芸術学分野	2018年度以前入学者 比較芸術学分野	文化遺産・伝統芸術分野	2019年度以降入学者 文化遺産・伝統芸術分野	2018年度以前入学者 文化遺産・伝統芸術分野	地域文化デザイン分野	2019年度以降入学者 芸術環境計画分野	2018年度以前入学者 芸術環境計画分野	2019年度以降入学者 芸術教育分野	2018年度以前入学者 芸術教育分野	2019年度以降入学者	2018年度以前入学者	日本画分野	洋画分野	陶芸分野	染織分野	建築デザイン分野 (2019年度以降入学者)			建築デザイン分野 (2018年度以前入学者)	日本庭園分野	千住ラボ	小笠原ラボ	後藤ラボ											
分野特論 1年次～		30623	美術・工芸特論Ⅰ-1	TX	2										●	●	●	●																						
		30624	美術・工芸特論Ⅰ-2	TX	2											●	●	●	●																					
		30041	美術・工芸特論Ⅱ-1 ※2019年度まで開講	S	2											●	●	●	●																					
		30042	美術・工芸特論Ⅱ-2 ※2019年度まで開講	S	2											●	●	●	●																					
		30107	美術・工芸特論Ⅲ-1	S	1											●	●	●	●																			2019年度までに「美術・工芸特論Ⅱ-1」を履修済の場合「美術・工芸特論Ⅲ-1、Ⅳ-1」履修不可、「美術・工芸特論Ⅱ-2」を履修済の場合「美術・工芸特論Ⅲ-2、Ⅳ-2」履修不可		
		30108	美術・工芸特論Ⅲ-2	S	1											●	●	●	●																					
		30649	美術・工芸特論Ⅳ-1	TX	1											●	●	●	●																					
		30650	美術・工芸特論Ⅳ-2	TX	1											●	●	●	●																					
		30625	環境デザイン特論Ⅰ-1	TX	2																	●																		
		30626	環境デザイン特論Ⅰ-2	TX	2																	●																	airUでのみ履修可	
		30627	環境デザイン特論Ⅱ-1	TX	2																	●	●	●																
		30628	環境デザイン特論Ⅱ-2	TX	2																	●	●																	
		30629	環境デザイン特論Ⅲ-1	TX	2																	●	●																airUでのみ履修可	
		30630	環境デザイン特論Ⅲ-2	TX	2																	●	●																※3	
		30048	環境デザイン特論Ⅳ-1 ※2018年度まで開講	S	2																																			
		30049	環境デザイン特論Ⅳ-2 ※2018年度まで開講	S	2																																			
		30105	環境デザイン特論Ⅳ-3	S	1																	●																	建築デザイン分野のみ履修可※3	
		30106	環境デザイン特論Ⅳ-4	S	1																	●																		
		30641	超域制作学特論Ⅰ-1	TX	2																							●	●	●										
		30642	超域制作学特論Ⅰ-2	TX	2																							●	●	●										
		30643	超域制作学特論Ⅱ-1	TX	2																							●												
		30644	超域制作学特論Ⅱ-2	TX	2																							●												
		30645	超域制作学特論Ⅲ-1	TX	2																							●												
		30646	超域制作学特論Ⅲ-2	TX	2																							●												
		30647	超域制作学特論Ⅳ-1	TX	2																									●										
		30648	超域制作学特論Ⅳ-2	TX	2																										●									
		30651	学際デザイン特論Ⅰ-1	TX	2																																		●	
		30652	学際デザイン特論Ⅰ-2	TX	2																																		●	
	30653	学際デザイン特論Ⅱ-1	TX	2																																		●		
	30654	学際デザイン特論Ⅱ-2	TX	2																																		●		

科目群	配当年次	科目コード	科目名	開講区分	単位数	芸術環境研究領域				美術・工芸領域				環境デザイン領域		超域プログラム		※6 学際デザイン研究領域	備考
						比較芸術学分野	文化遺産・伝統芸術分野	芸術環境計画分野	芸術教育分野	日本画分野	洋画分野	陶芸分野	染織分野	建築デザイン分野	日本庭園分野	千住ラボ	小笠原ラボ		
演習・研究 ※2	1年次～	30003	芸術環境演習Ⅰ	SR	4	●	●	●	●										
		30005	芸術環境演習Ⅲ	SR	4	●	●	●	●										
	2年次	30021	芸術環境研究Ⅰ	SR	8	●	●	●	●										
	1年次～	30044	美術・工芸演習(日本画)	SR	8					●									
	2年次	30023	美術・工芸研究(日本画)	SR	8					●									
	1年次～	30045	美術・工芸演習(洋画)	SR	8						●								
	2年次	30024	美術・工芸研究(洋画)	SR	8						●								
	1年次～	30046	美術・工芸演習(陶芸)	SR	8							●							
	2年次	30025	美術・工芸研究(陶芸)	SR	8							●							
	1年次～	30047	美術・工芸演習(染織)	SR	8								●						
	2年次	30026	美術・工芸研究(染織)	SR	8								●						
	1年次～	30055	環境デザイン演習(建築デザイン)	SR	8								●						※3
	2年次	30027	環境デザイン研究(建築デザイン)	SR	8								●						
	1年次～	30056	環境デザイン演習(日本庭園)	SR	8									●					
	2年次	30029	環境デザイン研究(日本庭園)	SR	8									●					
	1年次～	30085	超域制作学演習Ⅰ	SR	8										●				
	2年次	30088	超域制作学研究Ⅰ	SR	8										●				
	1年次～	30086	超域制作学演習Ⅱ	SR	8											●			
	2年次	30089	超域制作学研究Ⅱ	SR	8											●			
	1年次～	30087	超域制作学演習Ⅲ	SR	8												●		
2年次	30090	超域制作学研究Ⅲ	SR	8												●			
1年次～	30109	学際デザイン演習Ⅰ	SR	2													●		
	30110	学際デザイン演習Ⅱ	SR	2													●		
	30111	学際デザイン演習Ⅲ	SR	2													●		
	30112	学際デザイン演習Ⅳ	SR	2													●		
	2年次	30113	学際デザイン研究	SR	8													●	
自由選択	1年次～	30612	芸術計画実践Ⅰ	TX	2													個人またはグループの研究活動報告	
	2年次	30613	芸術計画実践Ⅱ	TX	2														
1年次～	30071 30074	環境デザイン実習Ⅰ～Ⅳ (インターンシップ/建築)	S	各4														建築デザイン分野のみ履修可※3	
	30079	論文研究基礎	S	1														2017年度以前入学生の修了要件としては認められません。	
その他	1年次～	41101～2 41109～10	芸術史講義(日本)1～4	WS	各2													airUでのみ履修可	
		41103～4 41111～2	芸術史講義(アジア)1～4	WS	各2														
		41105～6 41113～4	芸術史講義(ヨーロッパ)1～4	WS	各2														
		41107～8 41115～6	芸術史講義(近現代)1～4	WS	各2														
																			2017年度以前入学生の修了要件としては認められません。
必修科目合計単位数						30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
修了要件単位数						2017年度以前入学生(※1)		32	32	32	32	32	32	32	32	32	32		
						2018年度以降入学生(※4)		30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

※1：2017年度以前入学生は必修以外にも、他領域の分野特論および自由選択科目を履修することで、修了要件を満たしてください(修了要件については、本書p.7を参照)。

※2：修了研究・修了制作に取り組む(研究科目を履修する)ためには、取り組む前年度末にまでに定められた着手要件を満たしている必要があります。本書p.7を確認の上、計画的に履修を進めてください。

※3：建築士受験資格要件におけるインターンシップ及びインターンシップ関連科目。

※4：2018年度以降入学生の芸術環境研究領域全分野、環境デザイン領域 日本庭園分野、超域プログラム 制作学(後藤ラボ)で修了研究・修了制作着手要件の個別指定(p.7参照)の対象者は規定の30単位に加えて数単位増加することになります。

※5：比較芸術学分野、文化遺産・伝統芸術分野、2018年度以前の芸術環境計画(創作文芸)分野のみ履修可

※6：学際デザイン研究領域は、分野特論については「学際デザイン特論Ⅰ-1～2」「同Ⅱ-1～2」のみ、また自由選択・その他科目についてはWS科目のみ履修可。またS科目についてはいずれも履修不可。



# 3.修了要件、修了研究・修了制作着手要件

大学院を修了するためには「単位」と呼ばれる文部科学省が定めた尺度に基づいて、授業（科目）を履修することが必要です。「修了要件」とは、修了するために定められている最低単位数や必修科目のことです。大学院における修了要件は、各領域およびプログラム毎に指定された必修科目を含んで30単位以上（2017年度以前入学生は32単位以上）を修得することによって満たすことができます。大学院の場合は必修科目の一つに2年次（修了年度）に修了研究・修了制作に関連する研究科目がありますが、これに着手するためには1年次（修了年度の前年度）にいくつかの要件を満たしておかなければなりません。これを「修了研究・修了制作着手要件」といいます。

「修了要件」「修了研究・修了制作着手要件」は入学区分によって、以下のように定められています。

## □修了研究・修了制作着手要件

	芸術環境研究領域 【比較芸術学/文化遺産・伝統芸術/芸術教育/芸術環境計画/地域文化デザイン】	美術・工芸領域 【日本画/洋画/陶芸/染織】	環境デザイン領域 【建築デザイン/日本庭園】	超域プログラム 【制作学】	学際デザイン研究領域
専攻共通	「芸術環境論特論Ⅰ、Ⅱ」4単位修得済み、「芸術環境原論Ⅰ、Ⅱ」から2単位以上修得済み。				
分野特論	-				学際デザイン特論Ⅰ-1～2およびⅡ-1～2から3科目6単位以上修得済み。
演習	専攻分野の「芸術環境演習Ⅰ、Ⅲ」8単位修得済み。	専攻分野の「美術・工芸演習」8単位修得済み。	専攻分野の「環境デザイン演習」8単位修得済み。	専攻ラボの「超域制作学演習」8単位修得済み。	学際デザイン演習Ⅰ～Ⅳから3科目6単位以上修得済み。

### 【修了研究・修了制作着手要件の個別指定】

※2018年度以降入学生芸術環境研究領域全分野、環境デザイン領域 日本庭園分野、超域プログラム 制作学（後藤ラボ）対象

出願書類と指定提出物による書類審査によって、論文を執筆するにあたっての基礎的な科目や、芸術史の科目など、基礎的な知識を養うための科目が修了研究・修了制作着手要件において追加で指定される場合があります。

初年度に指定する科目を受講し合格することが、2年目以降に修了研究・修了制作に着手するための追加要件となります。

## □修了要件 新要件（2018年度以降入学生）

	芸術環境研究領域 【比較芸術学/文化遺産・伝統芸術/芸術教育/芸術環境計画/地域文化デザイン】	美術・工芸領域 【日本画/洋画/陶芸/染織】	環境デザイン領域 【建築デザイン/日本庭園】	超域プログラム 【制作学】	学際デザイン研究領域
専攻共通	「芸術環境論特論Ⅰ、Ⅱ」4単位修得済み、「芸術環境原論Ⅰ、Ⅱ」から2単位以上修得済み、計6単位以上				
分野特論	専攻領域の特論を含む 8単位以上				
演習（1年次～）	専攻分野 8単位				
研究（2年次）	専攻分野 8単位				
合計	30単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士論文」、あるいは「修士研究活動実施報告書」の審査および試験に合格すること。	30単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士制作作品および制作研究ノート」の審査および試験に合格すること。	30単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士制作作品および制作研究ノート」あるいは「修士論文」※1または「修士研究活動実施報告書」※1の審査および試験に合格すること。 ※1:日本庭園分野のみ	30単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士制作作品および制作研究ノート」※2あるいは「修士論文」※3の審査および試験に合格すること。 ※2:千住ラボ・小笠原ラボ ※3:後藤ラボ	30単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士研究活動実施報告書」の審査および試験に合格すること。

□修了要件 旧要件（2017年度以前入学生）

	芸術環境研究領域 【比較芸術学/文化遺産・ 伝統芸術/芸術教育/芸術 環境計画】	美術・工芸領域 【日本画/洋画/陶芸/染織】	環境デザイン領域 【建築デザイン/日本庭園】	超域プログラム 【制作学】
専攻共通	「芸術環境論特論Ⅰ、Ⅱ」4単位修得済み、「芸術環境原論Ⅰ、Ⅱ」から2単位以上修得済み、計6単位以上			
分野特論	専攻領域の特論を含む 8単位以上			
演習（1年次～）	専攻分野 8単位			
研究（2年次）	専攻分野 8単位			
自由選択	2単位以上（専攻共通、分野特論、自由選択科目のいずれからでも選択可）			
合計	32単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士論文」、あるいは「修士研究活動実施報告書」の審査および試験に合格すること。	32単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士制作作品および制作研究ノート」の審査および試験に合格すること。	32単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士制作作品および制作研究ノート」あるいは「修士論文」※1 または「修士研究活動実施報告書」※1 の審査および試験に合格すること。  ※1: 日本庭園分野のみ	32単位以上 かつ、必要な研究指導を受けたうえで、「修士制作作品および制作研究ノート」※2の審査および試験に合格すること。  ※2: 千住ラボ・小笠原ラボ

(1) 修了予定者の履修スケジュール

2020年度修了予定の方は、修了研究・修了制作関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに必ず、修了研究・修了制作関連科目以外の科目の履修を完了するように計画的に学習を進めてください。（pp.12～13参照）

(2) 修了研究・修了制作着手の辞退

9月～10月に「修士論文等題目届」、または1月に「修士論文等審査願」および修士論文等を提出しなかった場合は、その年度の修了研究・修了制作着手は辞退したものととして取り扱います。

(3) 研究科目の履修と学位審査

本専攻では、修了予定年度に履修する研究科目に着手するための条件として「(5) 修了要件、修了研究・修了制作着手要件」にあるように、領域およびプログラム毎に「修了研究・修了制作着手要件」を設けており、これに基づいて着手判定を行います。着手判定は次年度の学籍状況が「学習」である場合に行われます。着手判定の対象になった方には3月下旬（予定）に「修了研究・修了制作着手結果通知」をお送りします。この通知で「着手許可」となった方は、次年度に研究科目を履修し学位申請論文等をもって口頭試問を受けます。口頭試問に合格した方は、学位申請論文等を「学位審査に合格した学位論文等」として正式に大学へ提出することになります。

# 4.スクーリング日程

※M1「芸術環境演習Ⅰ」は4月～8月、M1「芸術環境演習Ⅲ」は10月～1月、M2「芸術環境研究Ⅰ」は4月～11月の開講  
 ※8月は比較芸術学分野と文化遺産・伝統芸術分野のみ開講。

		科目名	開講日程	会場	スクーリングコード		
芸術環境研究領域	全分野	芸術環境演習Ⅰ／ 芸術環境演習Ⅲ／ 芸術環境研究Ⅰ	大辻ゼミ 加藤ゼミ 井上ゼミ	4/4(土)、5/2(土)、6/6(土)、8/8(土)、 10/3(土)、11/14(土)、2021/1/23(土)	京都	比較芸術学分野 (3000301001、3000501001、3002101001) 文化遺産・伝統芸術分野(井上ゼミ) (3000301002、3000501002、3002101002) 文化遺産・伝統芸術分野(五島ゼミ) (3000301002、3000501003、3002101003) 芸術教育分野 (3000301003、3000501004、3002101004) 地域文化デザイン分野 (3000301004、3000501005、3002101005)	
			五島ゼミ	4/4(土)、5/2(土)、6/6(土)、8/8(土)、 10/10(土)、11/14(土)、2021/1/23(土)			
			上村ゼミ 伊達ゼミ	4/4(土)、5/2(土)、6/6(土)、 10/3(土)、11/14(土)、2021/1/23(土)			
	分野比較芸術学	芸術環境演習Ⅰ／ 芸術環境演習Ⅲ／ 芸術環境研究Ⅰ	武井ゼミ	4/11(土)、5/9(土)、6/14(日)、8/29(土)、 10/10(土)、11/15(日)、2021/1/17(日)	東京■		比較芸術学分野 (3000301006、3000501006、3002101006)
	伝統芸術分野	芸術環境演習Ⅰ／ 芸術環境演習Ⅲ／ 芸術環境研究Ⅰ	野村ゼミ	4/11(土)、5/9(土)、6/14(日)、8/29(土)、 10/11(日)、11/15(日)、2021/1/17(日)	東京■		文化遺産・伝統芸術分野(野村ゼミ) (3000301007、3000501007、3002101007) 文化遺産・伝統芸術分野(三上ゼミ) (3000301008、3000501008、3002101008)
地域文化デザイン分野	芸術環境演習Ⅰ／ 芸術環境演習Ⅲ／ 芸術環境研究Ⅰ	本間ゼミ 春日部ゼミ	4/11(土)、5/9(土)、6/13(土)、 10/11(日)、11/14(土)、 2021/1/16(土)	東京■		芸術教育分野 (3000301009、3000501009、3002101009) 地域文化デザイン分野 (3000301010、3000501010、3002101010)	
	文芸創作	芸術環境演習Ⅰ／ 芸術環境演習Ⅲ／ 芸術環境研究Ⅰ	田中ゼミ	4/11(土)、5/9(土)、6/14(日)、 10/10(土)、11/15(日)、 2021/1/17(日)	東京■	地域文化デザイン(創作文芸)分野 (3000301011、3000501011、3002101011)	
演習・研究	日本画分野	美術・工芸演習(日本画)	4/18(土)～4/19(日)	京都	3004401001		
			6/13(土)～6/14(日)				
			7/25(土)～7/26(日)				
			9/26(土)～9/27(日)				
			10/31(土)～11/1(日)				
			12/19(土)～12/20(日)				
	美術・工芸研究(日本画)	4/18(土)～4/19(日)	京都	3002301001			
		6/13(土)～6/14(日)					
		7/25(土)～7/26(日)					
		9/26(土)～9/27(日)					
		10/31(土)～11/1(日)					
		12/19(土)～12/20(日)					
	洋画分野	美術・工芸演習(洋画)	4/18(土)～4/19(日)	京都	3004501001		
			6/27(土)～6/28(日)				
			8/1(土)～8/2(日)				
			9/26(土)～9/27(日)				
			10/31(土)～11/1(日)				
			12/12(土)～12/13(日)				
美術・工芸研究(洋画)	4/18(土)～4/19(日)	京都	3002401001				
	6/27(土)～6/28(日)						
	8/1(土)～8/2(日)						
	9/26(土)～9/27(日)						
	10/31(土)～11/1(日)						
	12/12(土)～12/13(日)						
陶芸分野	美術・工芸演習(陶芸)	4/25(土)～4/26(日)	京都	3004601001			
		5/16(土)～5/17(日)					
		7/4(土)～7/5(日)					
		8/1(土)～8/2(日)					
		10/17(土)～10/18(日)					
		11/21(土)～11/22(日)					
美術・工芸研究(陶芸)	4/25(土)～4/26(日)	京都	3002501001				
	5/16(土)～5/17(日)						
	7/4(土)～7/5(日)						
	8/1(土)～8/2(日)						
	10/17(土)～10/18(日)						
	11/21(土)～11/22(日)						
染織分野	美術・工芸演習(染織)	4/11(土)～4/12(日)	京都	3004701001			
		5/3(日)～5/4(月・祝)					
		7/4(土)～7/5(日)					
		8/1(土)～8/2(日)					
		10/24(土)～10/25(日)					
		12/19(土)～12/20(日)					
美術・工芸研究(染織)	4/11(土)～4/12(日)	京都	3002601001				
	5/3(日)～5/4(月・祝)						
	7/4(土)～7/5(日)						
	8/1(土)～8/2(日)						
	10/24(土)～10/25(日)						
	12/19(土)～12/20(日)						

		科目名	開講日程	会場	スクーリングコード	
環境デザイン分野	建築デザイン分野	環境デザイン演習 (建築デザイン)	木造住宅実務設計:横内スタジオ(京都)			環境デザイン演習(建築デザイン) 横内スタジオ:3005501001
			4/4(土)	京都	環境デザイン演習(建築デザイン) 横内スタジオ:3005501001	
			4/26(日)	京都		
			5/24(日)	京都		
			6/21(日)	京都		
			7/18(土)	京都		
			7/19(日)	京都		
			8/23(日)	京都		
			9/27(日)	京都		
			10/25(日)	京都		
			11/22(日)	京都		
			12/19(土)	東京■		
		12/20(日)	東京■			
		環境デザイン研究 (建築デザイン)	現代建築設計:岸スタジオ(京都)			環境デザイン演習(建築デザイン) 岸スタジオ:3005501002 環境デザイン研究(建築デザイン) 岸スタジオ:3002701002
			4/4(土)	京都		
			4/26(日)	京都		
			5/24(日)	京都		
			6/21(日)	京都		
			7/18(土)	京都		
			7/19(日)	京都		
			8/23(日)	京都		
			9/27(日)	京都		
			10/25(日)	京都		
			11/22(日)	京都		
	12/19(土)		京都			
	12/20(日)	京都				
	環境デザイン領域	環境デザイン演習 (日本庭園)	木造住宅実務設計:堀部スタジオ(東京)			環境デザイン演習(建築デザイン) 堀部スタジオ:3005501003 環境デザイン研究(建築デザイン) 堀部スタジオ:3002701003
			4/4(土)	京都		
			4/26(日)	東京■		
			5/24(日)	東京■		
			6/21(日)	東京■		
			7/18(土)	京都		
			7/19(日)	京都		
			8/23(日)	東京■		
			9/27(日)	東京■		
			10/25(日)	東京■		
			11/22(日)	東京■		
			12/19(土)	東京■		
		12/20(日)	東京■			
		環境デザイン研究 (日本庭園)	4/4(土)	京都	3005601001	
			5/9(土)	京都		
			6/6(土)	東京(学外)■		
7/4(土)			京都			
8/8(土)~8/9(日)			京都			
9/5(土)			京都(学外)■			
10/3(土)			京都			
11/7(土)			滋賀(学外)■			
12/5(土)~12/6(日)			京都			
2021/2/23(火・祝)			京都			
環境デザイン研究 (日本庭園)			4/4(土)	京都		3002901001
	5/9(土)		京都			
	6/6(土)	東京■				
	7/4(土)	京都				
	8/8(土)~8/9(日)	京都				
	9/5(土)	京都(学外)■				
	10/3(土)	京都				
	11/7(土)	滋賀(学外)■				
	11/21(土)	京都				
	12/5(土)~12/6(日)	京都				

		科目名	開講日程	会場	スクーリングコード
演習・研究	超域プログラム	千住ラポ 超域制作学演習Ⅰ 超域制作学研究Ⅰ	4/4(土)	東京■ 神奈川(横浜)/東京■ 東京■	超域制作学演習Ⅰ:3008501001 超域制作学研究Ⅰ:3008801001
			6/6(土)		
			8/28(金)		
			8/29(土)～8/30(日)		
			10/10(土)		
	超域プログラム	小笠原ラポ 超域制作学演習Ⅱ 超域制作学研究Ⅱ	4/11(土)	秋葉原■ (DMM.make AKIBA)	超域制作学演習Ⅱ:3008601001 超域制作学研究Ⅱ:3008901001
			7/11(土)		
			11/21(土)		
	超域プログラム	後藤ラポ 超域制作学演習Ⅲ 超域制作学研究Ⅲ	4/4(土)	東京■	超域制作学演習Ⅲ:3008701001 超域制作学研究Ⅲ:3009001001
			5/23(土)～5/24(日)		
			8/15(土)		
			10/17(土)～10/18(日)		
研究領域	学際デザイン 学際デザイン演習Ⅰ～Ⅳ 学際デザイン研究	4/4(土)	Web上	学際デザイン演習Ⅰ:3010901001 学際デザイン演習Ⅱ:3011001001 学際デザイン演習Ⅲ:3011101001 学際デザイン演習Ⅳ:3011201001 学際デザイン研究 :3011301001	
		5/23(土)～5/24(日)			
		8/15(土)			
		10/17(土)～10/18(日)			
		12/19(土)～12/20(日)			
			すべてWeb上で開講(授業スケジュール等の詳細は科目ページ内で別途指示)		

### 分野特論・自由選択スクーリングの申し込み方法・キャンセル(学際デザイン研究領域を除く)

下表の分野特論、自由選択スクーリングは申し込みが必要です。スクーリングの申し込みは3ヶ月ごと(年4回)にairU、郵送・窓口にて先行募集を行います。受講予定のスクーリングは先行募集で申し込むようにしてください。なお、スクーリング申込用紙は大学から送付しませんので、申込期間にairUマイページまたは郵送・窓口にて申し込みしてください。定員に空きのある科目についてはスクーリング開講の30～5日前まで追加募集を行います。また、受講許可後からキャンセル時期により10～100%のキャンセル料がかかります。各申込スケジュールや申込方法などの詳細は『学習ガイド』pp.49～56をご確認ください。

		科目名	開講日程	会場	スクーリングコード	申込期
分野特論		芸術環境特論Ⅴ-1	9/26(土)～9/27(日)	東京■	3009101001	夏期(7～9月)
		芸術環境特論Ⅴ-2	10/24(土)～10/25(日)	京都	3009201001	秋期(10～12月)
		芸術環境特論Ⅴ-3	5/16(土)～5/17(日)	京都	3009301001	春期(4～6月)
		芸術環境特論Ⅴ-4	12/26(土)～12/27(日)	東京■	3009401001	秋期(10～12月)
		芸術環境特論Ⅴ-5	2020年度休講			
		芸術環境特論Ⅴ-6	10/10(土)～10/11(日)	京都	3009601001	秋期(10～12月)
		芸術環境特論Ⅴ-7	9/26(土)～9/27(日)	東京■	3009701001	夏期(7～9月)
		芸術環境特論Ⅴ-8	4/18(土)～4/19(日)	東京■	3009801001	春期(4～6月)
		芸術環境特論Ⅴ-9	12/19(土)～12/20(日)	京都	3009901001	秋期(10～12月)
		芸術環境特論Ⅴ-10	5/16(土)～5/17(日)	東京■	3010001001	春期(4～6月)
		芸術環境特論Ⅵ-1	5/5(火・祝)～5/6(水・祝)	東京■	3010101001	春期(4～6月)
		芸術環境特論Ⅵ-2	12/19(土)～12/20(日)	京都 滋賀■	3010201001	秋期(10～12月)
		芸術環境特論Ⅵ-3	8/1(土)～8/2(日)	学外■	3010301001	夏期(7～9月)
		芸術環境特論Ⅵ-4	10/31(土)～11/1(日)	学外■	3010401001	秋期(10～12月)
		美術・工芸特論Ⅲ-1	5/30(土)～5/31(日)	京都	3010701001	春期(4～6月)
		美術・工芸特論Ⅲ-2	9/5(土)～9/6(日)	京都	3010801001	夏期(7～9月)
		環境デザイン特論Ⅳ-3	5/9(土)～5/10(日)	京都・愛知■	3010501001	春期(4～6月)
		環境デザイン特論Ⅳ-4	10/3(土)～10/4(日)	東京■	3010601001	秋期(10～12月)

		科目名	開講日程	会場	スクーリングコード	申込期
自由選択	論文研究基礎	6/6(土)～6/7(日)		東京■	3007901001	春期(4～6月)
		7/18(土)～7/19(日)		京都	3007901002	夏期(7～9月)
		10/3(土)～10/4(日)		京都	3007901003	秋期(10～12月)
		2021/1/30(土)およびWeb教材での事前学習		東京■	3007901004	冬期(1～3月)

# 5. 学位審査

## 5-1. 学位審査に関するスケジュールと諸手続

学位審査においては、授業とは別に提出締切日や口頭試問日が設定されます。スケジュールを以下に記しますので、今後の履修計画と照らし合わせ、提出忘れや準備不足のないようにしてください。

時 期	関連事項および提出物
3月下旬	「修了研究・修了制作着手判定結果通知」送付
4月～	研究科目の履修、学位申請論文等準備
9月～10月	「修士論文等題目届」(『学習ガイド』p.227)を研究科目スクーリング時に提出 ※1
12月上旬	「修士論文等審査願」を大学より送付 ※2
秋期分まで (12月末)	修了研究・修了制作着手者のスクーリング科目最終受講期限 ※4
秋期分まで (11月20日 (金)【必着】)	修了研究・修了制作着手者のTX科目の最終提出期限 ※4
2021年1月7日 (木)～1月9日 (土)【必着】	【全領域】 修士論文等審査願1部、学位申請論文等各3部 (pp.14～21) を提出 ※2、3
2021年1月30日 (土)～1月31日 (日) のうち主査の指定する日時	口頭試問 ・日時については1月中旬に修士論文等審査願受理結果通知にてお知らせします。 ※5 ・美術・工芸領域は前日に作品審査を行います。
2021年2月10日 (水)【必着】	口頭試問時に主査より再提出の指示があった場合：学位申請時に提出した学位申請論文等に朱書訂正を施したものと訂正済の学位申請論文等、訂正箇所一覧各1部を提出 (主査が「訂正内容確認証明」を発行) ※6、7
2021年3月上旬	修了判定会議終了後、修了判定結果通知を大学より送付
2021年3月上旬～3月11日 (木)【必着】	修了判定結果通知到着後、修了が認められた場合、学位論文等1部ならびに、学位論文等のデータ1部を提出 (データ提出は芸術環境研究領域、環境デザイン領域、超域プログラムは必須) ※8 口頭試問時に主査より再提出指示があった場合：大学にて訂正内容確認証明を添付 ※7
2021年3月13日 (土)	学位授与式

※印の内容についてはp.13を確認してください。

## 5-2. 学位審査に関する注意事項

以下の注意事項は上表《学位審査に関するスケジュールと諸手続》備考欄の※印に対応しています。いずれも重要事項ですので、十分確認をしてください。

### 【期日厳守】

学位審査に係る上表の各提出締切に遅延した場合は、いかなる理由があってもこれを受理いたしません。また、修了判定結果通知にて修了が認められた場合でも3月上旬～3月11日 (木)【必着】で学位論文等の提出がなければ、修了が取り消しになることがあります。

### 【提出物の取り扱い】

前頁内の書類は学位に関連する重要な書類です。提出にあたってはすべて簡易書留 (宅配便等、到着の確認ができるものも可)とし、期間内【必着】で「通信教育課程教務課学位審査係」宛に提出してください。なお、大学への到着状況は追跡サービスを利用し各自で確認してください。

**【問い合わせ先・提出先】** 提出物は郵送もしくは窓口で提出してください (FAX送信不可)。

京都芸術大学 通信教育課程教務課学位審査係

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 TEL 075-791-9141 / FAX 075-791-9021

電子メール (question@air-u.kyoto-art.ac.jp)

※ 窓口提出は受付時間厳守のこと。日・祝日は休止日のため、窓口提出は受付不可。

(月～土/9:00～17:00、日・祝/窓口休止日)

- ※1: 「修士論文等題目届」は、提出後、指導教員が確認・署名します。  
一度提出した題目の変更 (副題を含む) は原則認められません。万一これを変更する場合は、必ず指導教員と相談・承認を得てください。  
提出した題目についての照会は受け付けません。提出前に必ずコピーをとり、修了判定結果通知が届くまで大切に保管してください。
- ※2: 「修士論文等審査願」は、提出期間前に大学より題目等記載済みの様式を送付しますので、署名のうえ、学位申請論文等とともに提出してください。  
なお、※1のとおり、題目等に変更があった場合は、指導教員の承認を得た変更後の題目等を、該当欄へ必ず追加記入してください。  
提出後に指導教員が確認・署名しますが、万一指導教員の承認した内容と反するものであった場合は、これを受理しませんので十分に注意してください。
- ※3: 提出物に不備がある場合 (例: 提出物の不足、指定書式が守られていない等) は受理できません。また、一度提出した学位申請論文等は提出期間内であっても修正、追加を行うことはできません (提出前にコピーを取り、口頭試問に備えてください)。万一、学位審査に供する提出物と齟齬した場合には、申請そのものを取り消します。学位申請論文等は、修了判定結果通知と共に返却します。
- ※4: 修了研究・修了制作関連科目を除くすべての科目について、p.12に記載の期限までに、課題提出・受講し、合格するようにしてください。修了研究・修了制作関連科目の課題提出・受講期限は、各科目により設定が異なりますので、シラバスを確認してください。
- ※5: 正式な口頭試問日時については、全領域とも郵送で連絡します。
- ※6: 口頭試問の過程において学位申請論文等の再提出の指示を受けた場合は、指導教員の指導に従って訂正のうえ、2月10日 (水) 【必着】までに〔訂正前〕学位申請論文等 (= 学位申請時に提出したものに朱書訂正を施したもの) および〔訂正後〕学位申請論文等、訂正箇所一覧 (A4判任意書式) を各1部提出してください。
- ※7: 「訂正内容確認証明」は、〔訂正前〕・〔訂正後〕の学位申請論文等の内容を確認したうえで、主査が発行します。主査による訂正内容の確認結果を大学より連絡しますので、その後所定の期間内に学位論文等1部ならびに、学位論文等のデータ1部 (データ提出は芸術環境研究領域、環境デザイン領域、超域プログラムは必須) を提出してください。発行された「訂正内容確認証明」は大学にて学位論文等に添付します。
- ※8: 学位論文等の提出の際に必要な紙ファイル1部等は、修了判定結果通知送付時に大学より送付します。

### 5-3. 学位申請論文等の形式

学位申請論文および学位論文は、その内容により「修士論文」「修士制作作品および制作研究ノート」「修士研究活動実施報告書」のいずれかの形態で作成し、必要な他の提出物とあわせて所定期間内に必要部数を通信教育部教務課学位審査係まで提出してください。所属する領域により、提出可能な形態が異なりますので、各自の研究内容と所属領域に照らし、下表にて提出形態を確認してください。

領域	提出形態
芸術環境研究領域	「修士論文」または「修士研究活動実施報告書」
美術・工芸領域	「修士制作作品および制作研究ノート」
環境デザイン領域	「修士論文」「修士制作作品および制作研究ノート」「修士研究活動実施報告書」 ※建築デザイン分野は「修士制作作品および制作研究ノート」に限る
超域プログラム	「修士制作作品および制作研究ノート」(千住ラボ・小笠原ラボ) 「修士論文」(後藤ラボ)
学際デザイン研究領域	「修士研究活動実施報告書」

## 芸術環境研究領域

### ・提出物と作成形態

「修士論文」「修士研究活動実施報告書」のいずれか 3部

「修士論文等審査願」 1部

### ・提出形態：以下に準ずる。

#### 修士論文

##### (1) 記述すべき内容

研究対象となる問題の意義を明らかにし、それに関する従来の国内外の研究を広く調査して批判的考察を加えるとともに、問題の解決に必要な新たな理論を根拠、論証とともに呈示する。

##### (2) 作成形態

###### ①論文

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙80枚分(32,000字)以上100枚分(40,000字)以内(本文末尾に総文字数を記入すること)。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行(1ページあたり2,100文字)
横書き	段組なし、40字×25行(1ページあたり1,000文字)

- ・指定書式による表紙(p.23参照)を添付すること。
- ・目次を本文の直前に挿入し、注釈、註、参考文献リストは本文末尾に挿入すること。
- ・図版、挿図は本文中に記載するか、大きいものは巻末資料にまとめるなどして適宜見やすく工夫すること。巻末資料にまとめる場合は、注釈、註、参考文献リストの後に挿入すること。
- ・本文～巻末資料にページ番号を付すこと(各ページ下方であれば場所・表記形式は任意)。表紙と目次にはページ番号不要。

###### ②要約

- ・本文の書式にあわせ2,000字程度(末尾に総文字数を記入すること)。
- ・指定書式による表紙(p.23)を添付し、題目の後ろにはカッコ書きで「(要約)」と明記すること。
- ・p.23「表紙と本文および表紙と要約の綴じ方」の図を参考に1箇所をホチキスでとめること。

上記①論文と②要約(クリアポケット)をまとめてA4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域・分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

中身の並び順(要約(クリアポケット)→指定表紙→目次→本文→注釈、註、参考文献リスト→巻末資料)

#### 修士研究活動実施報告書

##### (1) 記述すべき内容

当該領域にとって重要な理論的基盤を提供するような特定の対象(地域、人物、活動、素材、技法など)について、周到な調査、実験を行い、今後の研究に資する報告を記述する。ただし調査・実験の報告とあわせて、関連・近接する他の研究事例を参考にしつつ方法論的な反省を加え、かつ理論的展望を示す必要がある。

##### (2) 作成形態

###### ①研究活動実施報告書

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙20枚分(8,000字)以上100枚分(40,000字)以内(本文末尾に総文字数を記入すること)。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行(1ページあたり2,100文字)
横書き	段組なし、40字×25行(1ページあたり1,000文字)



- ・指定書式による表紙 (p.23参照) を添付すること。
- ・目次を本文の直前に挿入し、注釈、註、参考文献リストは本文末尾に挿入すること。
- ・図版、挿図は本文中に記載するか、大きいものは巻末資料にまとめるなどして適宜見やすく工夫すること。巻末資料にまとめる場合は、注釈、註、参考文献リストの後に挿入すること。
- ・本文～巻末資料にページ番号を付すこと (各ページ下方であれば場所・表記形式は任意)。表紙と目次にはページ番号不要。

## ②要約

- ・本文の書式にあわせ2,000字程度 (末尾に総文字数を記入すること)。
- ・指定書式による表紙 (p.23) を添付し、題目の後ろにはカッコ書きで「(要約)」と明記すること。
- ・p.23「表紙と本文および表紙と要約の綴じ方」の図を参考に1箇所をホチキスでとめること。

## ③報告資料 (報告書の内容および分量によっては必須)

次の i～iv いずれかの形態にまとめること。作品現物の提出は認めない。

### i) 作品写真

- ・カラープリント六つ切サイズまたはA4サイズ、あるいはA4サイズの写真専用紙にカラー出力したものを、1枚以上提出する。
- ・作品写真は提出枚数にかかわらず、1枚ずつA4縦判クリヤーポケットに入れること。
- ・作品写真裏面には、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名、作品名、素材、サイズなどを明記すること。
- ・あまりにも実物と色調が異なる写真やピンボケの写真では確認・審査に支障をきたすため、この点を十分考慮し写真を準備すること。

### ii) 図面

- ・A4サイズ二つ折りのり付け製本 (観音製本) とする。表紙はダイヤボード、表紙の色は鶯色とする。表紙には、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること。
- ・もとの図面はA3サイズで作成したものを二つ折り製本しA4サイズとすること。ただし図面は縮尺を変更しレイアウトしなおすか、縮小すること。また図面の縮尺などによりA3サイズにまとめることが困難な場合は、一部折り込みも可とする。

### iii) 作品映像

- ・形態：DVD-R
- ・記載項目：作品タイトル、収録時間 (分)、収録日、撮影地点 (住所) など
- ・所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を上記載項目とあわせてメディア表面とパッケージに明記すること
- ・DVD-RW、DVD+R、DVD+RW等は不可
- ・DVD-Rは日本製のメーカー品を推奨、書き込みはDVD-Video形式、NTSC、国コード「2」(日本) とする。
- ・A4縦判クリヤーポケットに入れること。

### iv) その他

- ・内容：上記 i～iii 以外の展示会パンフレット、ワークショップ開催時の配付資料、各種メディアに掲載記事の写し、など自身の研究活動記録となる資料
- ・A4縦判クリヤーポケットに入れること
- ・A4縦判クリヤーポケットに収まらない場合は現物の提出を認めない。代わりに報告資料を写真に撮ったものを出力して提出すること。
- ・報告資料の写真提出にあたっては、プリント用紙・サイズ・裏面の記載について上記「i) 作品写真」の仕様に準ずること。

上記①研究活動実施報告書と②要約 (クリアポケット)、③報告資料 (必要に応じて) をまとめてA4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域・分野、学籍番号、氏名を明記すること。▶p.24参照

中身の並び順 (要約 (クリアポケット) → 指定表紙 → 目次 → 本文 → 注釈、註、参考文献リスト → 巻末資料 → 報告資料)

## 美術・工芸領域

### ・提出物と作成形態

「制作研究ノート」(修士制作作品の写真添付のこと) 3部

「修士論文等審査願」 1部

### ・提出形態：以下に準ずる。

## 修士制作作品および制作研究ノート

### (1) 記述すべき内容

学位審査に供する修士作品について、その制作動機にはじまり、コンセプト、思想を述べ、それを具体化するために用いた表現、作品形態、技法、素材などについて論述する。

また、影響を受けた理論、作家、作品があればこれを比定して本論の補強とすることを可とするが、他者の文章等を引用する場合は量の多少に関わらず、註として本文とは別に記述すること。なお、他者の文章であってもその内容を咀嚼し自身の言葉におきかえる場合は、全文字数の1.5割までこれを認める。

### (2) 作成形態

#### ①制作研究ノート

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙10枚分(4,000字)以上40枚分(16,000字)以内(本文末尾に総文字数を記入すること)。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行(1ページあたり2,100文字)
横書き	段組なし、40字×25行(1ページあたり1,000文字)

- ・ページ番号を付すこと(各ページ下方であれば場所・表記形式は任意)。
- ・表紙を添付すること(p.23学位申請論文等表紙サンプル参照)。
- ・A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

#### ②修士制作作品

以下の形態にまとめ、制作研究ノートに綴じ込むこと。

- ・カラープリント六つ切サイズまたはA4サイズ、あるいはA4サイズの写真専用紙にカラー出力したものを、1枚以上提出する。
- ・作品写真は提出枚数にかかわらず、1枚ずつA4縦判クリアーポケットに入れ、制作研究ノートを綴じたA4縦判2穴紙ファイル末尾に綴じ込む。
- ・作品写真裏面には、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名、作品名、素材、サイズなどを明記すること。
- ・あまりにも実物と色調が異なる写真やピントのぼけた写真では確認・審査に支障をきたすため、この点を十分考慮し写真を準備すること。

※美術・工芸領域は、確認のため口頭試問の前日に作品(現物)を展示し、作品審査を行ないます。作品審査については研究室より別途案内します。

## 環境デザイン領域

### 【建築デザイン分野】

#### ・提出物と作成形態

「修士制作作品および制作研究ノート」 3部

「修士論文等審査願」 1部

#### ・提出形態：以下に準ずる。

## 修士制作作品および制作研究ノート

### (1) 制作研究ノートに記述すべき内容

学位審査に供する修士作品について、その制作条件から、設計思想、コンセプトを述べ、それを具体化するために用いた構成、工法、部材、素材、手法工夫について論述するとともに、更なるその効用までをまとめる。

また、影響を受けた理論、作家、作品があればこれを比定して本論の補強とすることを可とするが、他者の文章等を引用する場合は量の多少に関わらず、註として本文とは別に記述すること。なお、他者の文章であってもその内容を咀嚼し自身の言葉におきかえる場合は、全文字数の1.5割までこれを認める。加えて、修了制作作品に至る3作品の概要をまとめると共に、その成果がどのような形で修了制作作品に結実したかについても記述する。

## (2) 作成形態

### ①制作研究ノート

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙10枚分(4,000字)以上40枚分(16,000字)以内(本文末尾に総文字数を記入すること)。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行(1ページあたり2,100文字)
横書き	段組なし、40字×25行(1ページあたり1,000文字)

- ・ページ番号を付すこと(各ページ下方であれば場所・表記形式は任意)。
- ・表紙を添付すること(p.23の学位申請論文等表紙サンプル参照)。
- ・A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

### ②修士制作作品

以下の形態にまとめること。作品現物の提出は認めない。

- ・修士制作作品の設計図書一式(模型写真4カット以上も含む)。他の3作品の設計図書一式も添付のこと(模型写真各4カット以上も含む)。
- ・合計4作品分の設計図書一式をA3サイズで作成し、A4サイズ二つ折りのり付け製本(観音製本)として提出。表紙はダイヤボード、表紙の色は鶯色とする。表紙には、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること。
- ・もとの図面はA3サイズで作成したものを二つ折り製本しA4サイズとすること。ただし図面は縮尺を変更しレイアウトしなおすか、縮小すること。また図面の縮尺などによりA3サイズにまとめることが困難な場合は、一部折り込みも可とする。
- ・制作研究ノートを綴じたA4縦判2穴紙ファイルにダブルクリップ(1個)で裏表紙の内側にとめること。▶p.24参照

## 【日本庭園分野】

### ・提出物と作成形態

「修士論文」「修士制作作品および制作研究ノート」「修士研究活動実施報告書」のいずれか 3部

「修士論文等審査願」 1部

### ・提出形態：以下に準ずる。

## 修士論文

### (1) 記述すべき内容

研究対象となる問題の意義を明らかにし、それに関する従来の国内外の研究を広く調査して批判的考察を加えるとともに、問題の解決に必要な新たな理論を根拠、論証とともに呈示する。

### (2) 作成形態

#### ①論文

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙80枚分(32,000字)以上100枚分(40,000字)以内(本文末尾に総文字数を記入すること)。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行(1ページあたり2,100文字)
横書き	段組なし、40字×25行(1ページあたり1,000文字)

- ・ページ番号を付すこと(各ページ下方であれば場所・表記形式は任意)。
- ・表紙を添付すること(p.23の学位申請論文等表紙サンプル参照)。
- ・A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

## ②要約

- ・本文の書式にあわせ2,000字程度（末尾に総文字数を記入すること）。
- ・指定書式による表紙（p.23）を添付し、題目の後ろにはカッコ書きで「(要約)」と明記すること（p.23の学位申請論文等表紙サンプル参照）。
- ・p.23「表紙と本文および表紙と要約の綴じ方」の図を参考に1箇所をホチキスでとめること。
- ・A4縦判クリヤーポケットに入れ、A4縦判2穴紙ファイルに綴じること▶p.24参照

## 修士制作作品および制作研究ノート

### (1) 制作研究ノートに記述すべき内容

学位審査に供する修士作品について、その制作条件から、設計思想、コンセプトを述べ、それを具体化するために用いた構成、工法、部材、素材、手法工夫について論述するとともに、更にその効用までをまとめる。

### (2) 提出物と作成形態

#### ①制作研究ノート

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙10枚分（4,000字）以上40枚分（16,000字）以内（本文末尾に総文字数を記入すること）。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行（1ページあたり2,100文字）
横書き	段組なし、40字×25行（1ページあたり1,000文字）

- ・ページ番号を付すこと（各ページ下方であれば場所・表記形式は任意）。
- ・表紙を添付すること（p.23の学位申請論文等表紙サンプル参照）。
- ・A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

#### ②制作物

以下の形態にまとめること。作品現物の提出は認めない。

- ・A4サイズ二つ折りのり付け製本（観音製本）として提出。表紙には、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること。
- ・もとの図面はA3サイズで作成したものを二つ折り製本しA4サイズとすること。ただし図面は縮尺を変更しレイアウトしなおすか、縮小すること。また図面の縮尺などによりA3サイズにまとめることが困難な場合は、一部折り込みも可とする。
- ・制作研究ノートを綴じたA4縦判2穴紙ファイルにダブルクリップ（1個）でとめること。▶p.24参照

## 修士研究活動実施報告書

### (1) 記述すべき内容

当該領域にとって重要な理論的基盤を提供するような特定の対象（地域、人物、活動、素材、技法など）について、周到な調査、実験を行い、今後の研究に資する報告を記述する。ただし調査・実験の報告とあわせて、関連・近接する他の研究事例を参考にしつつ方法論的な反省を加え、かつ理論的展望を示す必要がある。

### (2) 作成形態

#### ①研究活動実施報告書

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙20枚分（8,000字）以上100枚分（40,000字）以内（本文末尾に総文字数を記入すること）。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行（1ページあたり2,100文字）
横書き	段組なし、40字×25行（1ページあたり1,000文字）

- ・ページ番号を付すこと（各ページ下方であれば場所・表記形式は任意）。
- ・表紙を添付すること（p.23の学位申請論文等表紙サンプル参照）。
- ・A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

## ②要約

- ・本文の書式にあわせ2,000字程度（末尾に総文字数を記入すること）。
- ・指定書式による表紙（p.23）を添付し、題目の後ろにはカッコ書きで「(要約)」と明記すること（p.23の学位申請論文等表紙サンプル参照）。
- ・p.23「表紙と本文および表紙と要約の綴じ方」の図を参考に1箇所をホチキスでとめること。
- ・A4縦判クリヤーポケットに入れ、A4縦判2穴紙ファイルに綴じること▶p.24参照

## ③報告資料（報告書の内容および分量によっては必須）

次の i～iii いずれかの形態にまとめること。作品現物の提出は認めない。

### i) 作品写真

- ・カラープリント六つ切サイズまたはA4サイズ、あるいはA4サイズの写真専用紙にカラー出力したものを、1枚以上提出する。
- ・作品写真は提出枚数にかかわらず、1枚ずつA4縦判クリヤーポケットに入れ、制作研究ノート綴じたA4縦判2穴紙ファイル末尾に綴じ込むこと。
- ・作品写真裏面には、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名、作品名、素材、サイズなどを明記すること。
- ・あまりにも実物と色調が異なる写真やピンボケの写真では確認・審査に支障をきたすため、この点を十分考慮し写真を準備すること。

### ii) 図面

- ・A4サイズ二つ折りのり付け製本（観音製本）とする。表紙はダイヤボード、表紙の色は鶯色とする。表紙には、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること。
- ・もとの図面はA3サイズで作成したものを二つ折り製本しA4サイズとすること。ただし図面は縮尺を変更しレイアウトしなおすか、縮小すること。また図面の縮尺などによりA3サイズにまとめることが困難な場合は、一部折り込みも可とする。
- ・A4縦判2穴紙ファイルにダブルクリップ（1個）でとめること▶p.24参照

### iii) 作品映像

- ・形態：DVD-R
- ・記載項目：作品タイトル、収録時間（分）、収録日、撮影地点（住所）など
- ・所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を上記載項目とあわせてメディア表面とパッケージに明記すること
- ・DVD-RW、DVD+R、DVD+RW等は不可
- ・DVD-Rは日本製のメーカー品を推奨、書き込みはDVD-Video形式、NTSC、国コード「2」（日本）とする。
- ・A4縦判クリヤーポケットに入れ、A4縦判2穴紙ファイル末尾に綴じること▶p.24参照

## 超域プログラム

### 【千住ラボ】

#### ・提出物と作成形態

「修士制作作品および制作研究ノート」 3部

「修士論文等審査願」 1部

#### ・提出形態：以下に準ずる。

### 修士制作作品および制作研究ノート

#### (1) 制作研究ノートに記述すべき内容

学位審査に供する制作研究について、以下の3項目を記すこと。

- ・制作研究に至った理論的背景と制作意図。
- ・制作研究を具体化するために用いた方法論、作品形態、素材、作業過程など。
- ・国内外の他の事例と比較した、制作研究の独自性と社会的意義。

#### (2) 作成形態

##### ①制作研究ノート

- ・本文文字数は400字詰原稿用紙20枚分（8,000字）以上40枚分（16,000字）以内（本文末尾に総文字数を記入すること）。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・縦書き、横書きいずれも可。
- ・A4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行（1ページあたり2,100文字）
横書き	段組なし、40字×25行（1ページあたり1,000文字）

- ・ ページ番号を付すこと（各ページ下方であれば場所・表記形式は任意）。
- ・ 表紙を添付すること（p.23学位申請論文等表紙サンプル参照）。
- ・ A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

## ②概要

修士制作にかかわる代表的な図版1点を添え、題目、氏名、研究成果の概要（400字）を記載し、表紙と本文の間に綴じ込むこと。

## ③修士制作作品

以下の形態にまとめ、制作研究ノートに綴じ込むこと。作品現物の提出は認めない。

### i) 作品写真

- ・ カラープリント六つ切サイズまたはA4サイズ、あるいはA4サイズの写真専用紙にカラー出力したものを、1枚以上提出する。
- ・ 作品写真は提出枚数にかかわらず、1枚ずつA4縦判クリアーポケットに入れ、制作研究ノートを綴じたA4縦判2穴紙ファイル末尾に綴じ込むこと。
- ・ 作品写真裏面には、所属専攻・領域、ラボ、学籍番号、氏名、作品名、素材、サイズなどを明記すること。
- ・ あまりにも実物と色調が異なる写真やピンボケの写真では確認・審査に支障をきたすため、この点を十分考慮し写真を準備すること。

## 【小笠原ラボ】

### ・ 提出物と作成形態

「修士制作作品および制作研究ノート」 3部

「修士論文等審査願」 1部

### ・ 提出形態：以下に準ずる。

## 修士制作作品および制作研究ノート

### (1) 制作研究ノートに記述すべき内容

学位審査に供する制作研究について、以下の3項目を記すこと。

- ・ 制作研究に至った理論的背景と制作意図。
- ・ 制作研究を具体化するために用いた方法論、作品形態、素材、作業過程など。
- ・ 国内外の他の事例と比較した、制作研究の独自性と社会的意義。

### (2) 作成形態

#### ①制作研究ノート

- ・ 本文文字数は400字詰原稿用紙20枚分（8,000字）以上40枚分（16,000字）以内（本文末尾に総文字数を記入すること）。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・ 縦書き、横書きいずれも可。
- ・ A4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行（1ページあたり2,100文字）
横書き	段組なし、40字×25行（1ページあたり1,000文字）

- ・ ページ番号を付すこと（各ページ下方であれば場所・表記形式は任意）。
- ・ 表紙を添付すること（p.23学位論文等表紙サンプル参照）。
- ・ A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

## ②概要

修士制作にかかわる代表的な図版1点を添え、題目、氏名、研究成果の概要（400字）を記載し、表紙と本文の間に綴じ込むこと。

## ③修士制作作品

以下の形態にまとめ、制作研究ノートに綴じ込むこと。作品現物の提出は認めない。

### i) 作品写真

- ・ A4サイズの紙にカラー出力したものを、1枚以上提出する。
- ・ 作品写真（A4サイズの紙にカラー出力したもの）は制作研究ノートを綴じたA4縦判2穴紙ファイル末尾に綴じ込むこと。
- ・ 出力紙裏面には、所属専攻・領域、ラボ、学籍番号、氏名、作品名、素材、サイズなどを明記すること。
- ・ あまりにも実物と色調が異なる写真やピンボケの写真では確認・審査に支障をきたすため、この点を十分考慮し準備すること。

ii) 図面

- ・ 図面がある場合は、A4サイズの紙に出力すること。
- ・ 図面は制作研究ノートを綴じたA4縦判2穴紙ファイル末尾に綴じ込むこと。
- ・ 出力紙裏面には、所属専攻・領域、ラボ、学籍番号、氏名を明記すること。

## 【後藤ラボ】

・ 提出物と作成形態

「修士論文」 3部

「修士論文等審査願」 1部

・ 提出形態：以下に準ずる。

### 修士論文

#### (1) 記述すべき内容

研究対象となる問題の意義を明らかにし、それに関する従来の国内外の研究を広く調査して批判的考察を加えるとともに、問題の解決に必要な新たな理論を根拠、論証とともに呈示する。

#### (2) 作成形態

##### ①論文

- ・ 本文文字数は400字詰原稿用紙80枚分(32,000字)以上100枚分(40,000字)以内(本文末尾に総文字数を記入すること)。本文文字数に目次、注釈、図版、挿図、表は含まない。
- ・ 縦書き、横書きいずれも可。
- ・ 手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用すること。
- ・ 原稿用紙はA4判400字詰であれば市販のものでも可。
- ・ ワープロの場合はA4縦判を次の通りレイアウトする。

	段組有無、一行の文字数×行数
縦書き	二段組、一段35字×一段30行(1ページあたり2,100文字)
横書き	段組なし、40字×25行(1ページあたり1,000文字)

- ・ ページ番号を付すこと(各ページ下方であれば場所・表記形式は任意)。
- ・ 指定書式による表紙(p.23参照)を添付すること。
- ・ A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする。ファイル表紙には、題目、所属専攻・領域、分野、学籍番号、氏名を明記すること▶p.24参照

##### ②要約

- ・ 本文の書式にあわせ2,000字程度(末尾に総文字数を記入すること)。
- ・ 指定書式による表紙(p.23)を添付し、題目の後ろにはカッコ書きで「(要約)」と明記すること。
- ・ p.23「表紙と本文および表紙と要約の綴じ方」の図を参考に1箇所をホチキスでとめること。
- ・ A4縦判クリアポケットに入れ、A4縦判2穴紙ファイルに綴じること▶p.24参照

## 学際デザイン研究領域

学際デザイン研究領域の提出物は「修士研究活動実施報告書」ですが、提出形態につきましては、次年度にお知らせします。

## 5-4. 学位申請論文等提出について

### (1) 提出物

①修士論文等審査願 1部 ②学位申請論文等 3部

### (2) 提出期間

【全領域】2021年1月7日(木)～1月9日(土)【必着】

### (3) 提出先

京都芸術大学 通信教育課程教務課学位審査係  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

#### (4) 提出方法

郵送もしくは窓口提出

※窓口提出は受付時間厳守のこと。日・祝日は休止日のため、窓口提出は受付不可。

(月～土/9:00～17:00、日・祝/窓口休止日)

※簡易書留(宅配便等、到着確認ができるものも可)で送付すること。

※一度提出した学位申請論文等は提出期間内であっても修正、追加を行うことはできません。

#### (5) 提出形態についての留意事項

・指定表紙の作成や、学位申請論文等の綴じ方については、pp.23～24の図を参考にすること。

・提出物に不備がある場合は受理できないので、提出形態・条件をよく確認すること。

・12月上旬に大学から送付する「修士論文等審査願」とあわせて提出すること。

## 5-5. 学位論文閲覧について

2010年度以降に提出された学位論文のうち、著作者本人が閲覧承諾しているものについては、データでの閲覧が可能です(複写不可)。ただし、5月中旬～下旬(予定)はデータメンテナンスのため、閲覧不可となり、6月以降(予定)に前年度分も含め閲覧可能となります。

瓜生山キャンパスは芸術文化情報センター(『学習ガイド』pp.136～138)に所蔵されています。利用方法は『雲母』6・7月合併号(5月25日発行)を確認してください。

東京外苑キャンパスでの閲覧を希望する場合は、事前に申し込みが必要です。希望閲覧日の1ヶ月～1週間前【必着】で、「大学院「学位論文等」閲覧申込書(東京外苑キャンパス用)」(『学習ガイド』p.228)に必要事項を明記し、郵便(84円切手貼付返信用封筒同封のこと)・FAX・窓口にて外苑キャンパス事務室に申請してください。申請受理後、希望日時に閲覧可否を返信します。

#### 【東京外苑キャンパスでの閲覧時の注意事項】

・閲覧可能日時は、開館日・開館時間(『学習ガイド』p.139)を参照のうえ、具体的な開館日は『雲母』各号の巻末カレンダーで確認してください。

・閲覧は、外苑キャンパス1階のエントランスロビーでのみ可(外部への持ち出し不可)。

・閲覧日当日は、必ず学生証を持参してください。

・キャンセルする場合は、必ず外苑キャンパス事務室(TEL:03-5412-6105)に連絡してください。

## 5-6. 学位審査に合格した学位論文等の提出について

修了判定に合格した後、各自が「学位申請論文等」を提出した形態に応じて「学位論文等」を提出してください。

#### (1) 提出物

①学位論文等 1部

②学位論文等のデータ 1部(データ提出は芸術環境研究領域・環境デザイン領域・超域プログラムは必須)

※口頭試問において再提出の指示があった場合に主査より発行された「訂正内容確認証明」は、大学において学位論文等に添付します(pp.12～13参照)。

#### (2) 提出期間 2021年3月上旬～3月11日(木)【必着】

#### (3) 提出先

京都芸術大学 通信教育課程教務課学位審査係

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

#### (4) 提出方法

郵送もしくは窓口提出

・窓口提出は受付時間厳守のこと。日・祝日は休止日のため、窓口提出は受付不可。

(月～土/9:00～17:00、日・祝/窓口休止日)

・簡易書留(宅配便等、到着確認ができるものも可)で送付すること。

・データの提出方法は「修了判定結果通知」とあわせてお知らせします。

#### (5) 提出形態についての留意

・論文、制作研究ノート、報告書等は、学位申請論文等に準じ要約や資料とともに、A4縦判2穴紙ファイルにファイリングする(p.24参照)。

・学位論文等をファイリングするA4縦判2穴紙ファイルおよび指定表紙は、「修了判定結果通知」に同封して、大学から送付します。



## 学位申請論文等 表紙サンプル

- ・必ず以下のフォームで作成すること。文字の大きさは任意で可。
- ・日付は西暦表示とすること。
- ・右上の日付は提出日とすること。
- ・要約にも同様の表紙を添付すること。ただし、題目の後ろにカッコ書きで、(要約)と明記すること。
- ・すべての提出論文・制作研究ノート・研究活動実施報告書に添付すること。

〈表紙横書き〉

20××年○月○日

学位申請  
20××年度 修士論文  
(または修士制作研究ノート、修士研究活動実施報告書)

題目 (要約) ※ ※要約の場合のみ明記

指導教員  
○○○教授

(所属専攻・領域・分野)  
(学籍番号)  
(氏名)

〈表紙縦書き〉

20××年○月○日

学位申請  
20××年度 修士論文  
(または修士制作研究ノート、修士研究活動実施報告書)

題目 (要約) ※ ※要約の場合のみ明記

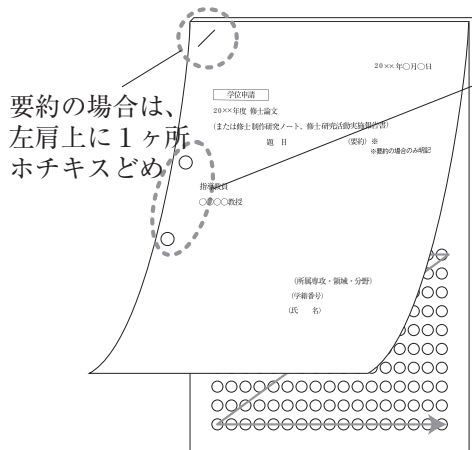
指導教員  
○○○教授

(所属専攻・領域・分野)  
(学籍番号)  
(氏名)

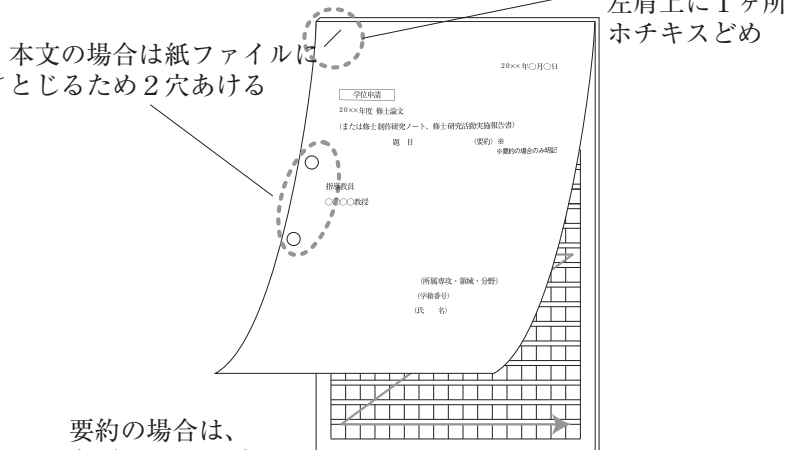
※用紙の印刷向きが縦置きでも可

## 表紙と本文および表紙と要約の綴じ方

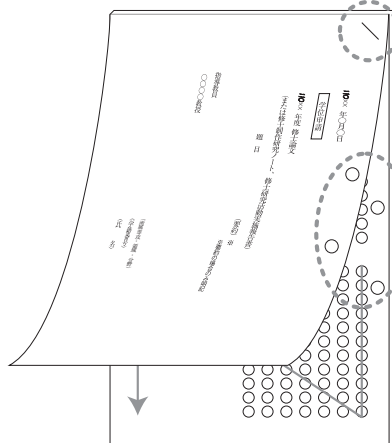
〈ワープロ横書きの場合〉



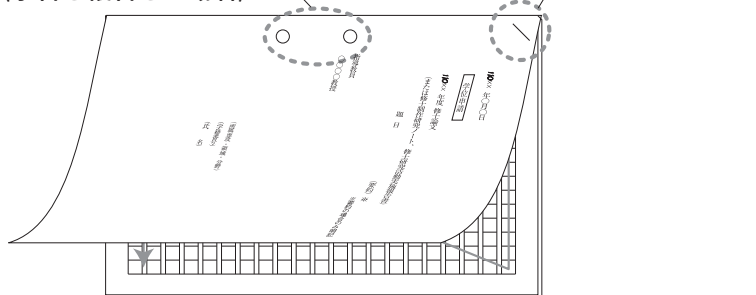
〈手書き横書きの場合〉



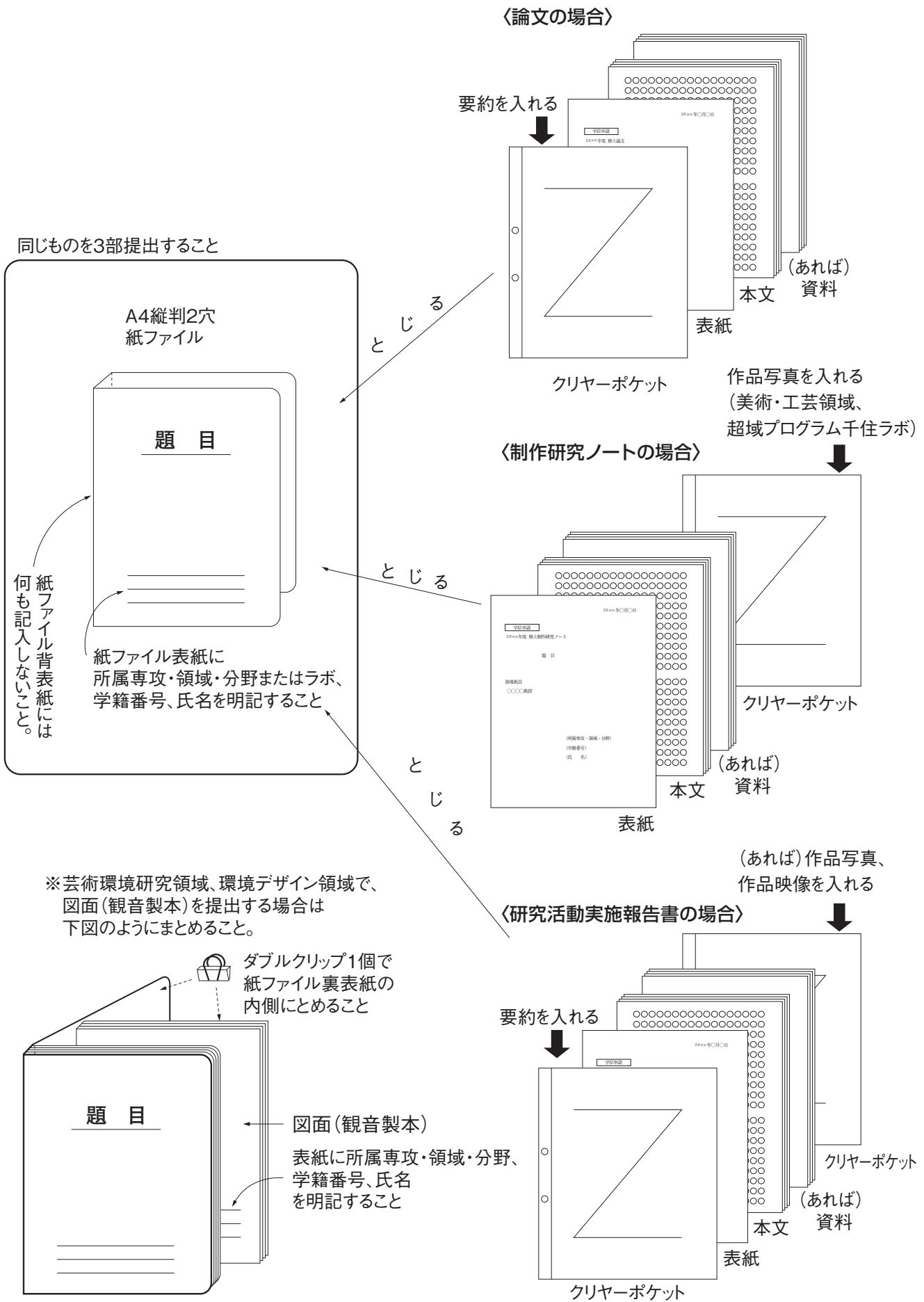
〈ワープロ縦書きの場合〉



〈手書き縦書きの場合〉



論文・制作研究ノート・研究活動実施報告書の綴じ方



# 6.資格課程

## 6-1. 専修免許状課程

本課程は2018年度入学生までが対象です

本大学院では、既に1種免許状を所持する方が大学院を修了し、所定の単位を修得する方法で専修免許状を取得することが可能です。※教育職員免許法第6条別表第3に従った申請は個人申請となります。

### (1) 取得できる教員免許状

中学校教諭専修免許状(美術)・高等学校教諭専修免許状(美術)

### (2) 基礎資格と最低修得単位数

専修免許状の基礎資格と、本専攻において修得しなければならない科目単位数は次のとおりです。

免許状の種類	基礎資格	所定科目の最低修得単位数
中学校教諭専修免許状(美術)	修士の学位を有すること	美術の「教科に関する科目」 24単位
高等学校教諭専修免許状(美術)		

### (3) 専修免許状取得要件

中学校教諭一種免許状(美術)及び高等学校教諭一種免許状(美術)のいずれか、あるいは両方を所持している方は、本大学院を修了することでそれぞれ相当する中学校教諭専修免許状(美術)及び高等学校教諭専修免許状(美術)の取得要件を充足することができます(教科に関する科目24単位は全て修了要件単位に含まれます)。

### (4) 課程登録手続期間

課程登録手続期間は、修了予定前年度の学籍更新期間です。翌年度に修了研究・修了制作に着手する方で専修免許状課程に登録希望の方は、この期間に学籍更新時に所定の手続をとってください。

### (5) 教員免許状の申請

教育職員免許法で定められた基礎資格を得て必要単位を修得した者は、都道府県教育委員会に申請することによって、中学校および高等学校教諭専修免許状が授与されます。

#### 一括申請

修了予定年度に課程登録を行っていて、修了と同時に教員免許状を取得しようとする方に代わって、大学が一括して京都府教育委員会へ免許状の申請を行うのが「一括申請」です。この一括申請を希望する場合は、申請資格や対象者等、以下の事項を確認のうえ所定の手続をとってください。

#### ① 申込受付期間等

提出期間	2020年10月1日(木)～10月15日(木)【必着】
提出書類	i 「教員免許状一括申請希望届(修士課程用)」 ii 所持する中学校・高等学校教諭1種免許状(美術)の写し
提出先	通信教育課程教務課

書類 i : 取得を希望する免許状全てに○をつけること。

書類 ii : A4サイズで免許状の記載が両面にわたる場合は両面の写しを提出してください。

#### ② 対象者：下記要件を全て満たしていること

学籍更新時に専修免許状課程に登録していて、2021年3月(2020年度末)に修了できる見込みであること。

#### ③ 一括申請の流れ

「教員免許状一括申請希望届」の受付後の流れは概ね次のようになります。

時期	手続き内容	対象
10月1日～10月15日【必着】	教員免許状一括申請希望届提出	学生→研究室
11月中旬～12月上旬	教員免許状授与申請書を送付	研究室→学生
	授与申請書を含む一括申請必要書類の提出	学生→研究室
3月下旬	教育職員免許状の授与および発送	研究室→学生

※修了不可もしくは免許状取得要件単位不足の場合には申請を取り下げます。

※京都府教育委員会から発行された免許状を研究室から郵送します。

#### ④ 免許状申請手数料

京都府では、免許状申請手数料は1件につき3,360円です(中学校・高等学校双方の免許状を申請する場合は、6,720円)。申請手数料は、課程登録料に含まれていますので支払手続等の必要はありません。

### 個人申請

一括申請手続をしない場合は全て個人申請となり、各自で教育委員会に免許状の申請を行います。

#### ① 対象者

- ・ 教員免許法第5条別表第1以外で申請をする方
- ・ 本大学院以外の基礎資格をもとに免許状申請を行う方
- ・ 一括申請の申込受付期間に申請しなかった方

#### ② 申請資格：次の要件を満たしていること

教育職員免許法で定められた基礎資格(修士学位の取得)を得て必要単位を修得した者

#### ③ 個人申請に必要な証明書

個人申請の際には、「学力に関する証明書」が必要です。「成績証明書」ではありませんので注意してください。希望者は④の手続方法に従って申し込み、証明書の交付を受けてください。

#### ④ 「学力に関する証明書」発行申込方法

- 1) 『学習ガイド』巻末書式の「証明書交付願(修士課程用)」に必要事項を記入する。
- 2) 提出先・使用目的等の欄には、申請先の都道府県教育委員会と個人申請を行う旨を明記する。
- 3) 「学力に関する証明書」の必要通数の合計を記入する。中学校、高等学校ともに申請する場合は、証明書がそれぞれ1通ずつ、合計2通必要です。
- 4) 都道府県指定の申請書類に本学が必要事項・修得単位数などを記入する必要がある場合は所定の証明書用紙と証明書記入要領等(教育委員会から渡された場合のみ)を同封する。

#### ⑤ 「学力に関する証明書」の発行時期について

翌年度の個人申請に向けた「学力に関する証明書」の発行時期は5月以降となります。ただし、採用時期により早い発行を希望する場合は個別に相談してください。

#### ⑥ その他

都道府県教育委員会の多くは年度末に管轄圏内の大学からの一括申請に対応するため、個人申請を受け付けない期間を設ける場合があります。また、申請から免許状の発行まで2~3か月要する場合があります。詳細は、申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

## 6-2. 建築士資格の登録要件(大学院における実務経験要件)

### (1) 環境デザイン領域 建築デザイン分野対象

大学院の課程において修得した科目が建築士資格の登録要件である実務経験として認められるためには、財団法人建築技術教育普及センターによって認定を受けた科目群の中から以下の単位数を満たす必要があります。

●：必ず受講 ○：いずれか選択受講

建築士法による要件		本学大学院の認定科目			実務経験	
					1年	2年
インターシップ科目	4単位以上	環境デザイン実習Ⅰ(インターンシップ/建築)※1	S	4	●	●
		環境デザイン実習Ⅱ(インターンシップ/建築)※1	S	4		●
		環境デザイン実習Ⅲ(インターンシップ/建築)※1	S	4		●
		環境デザイン実習Ⅳ(インターンシップ/建築)※1	S	4		●
インターシップ関連科目	講義/8単位以下	環境デザイン特論Ⅲ-1	TX	2	●	●
		環境デザイン特論Ⅲ-2	TX	2	●	●
		環境デザイン特論Ⅳ-1※2(2018年度まで開講)	S	2		○
		環境デザイン特論Ⅳ-2※2(2018年度まで開講)	S	2		○
		環境デザイン特論Ⅳ-3※2	S	1		○
		環境デザイン特論Ⅳ-4※2	S	1		○
	演習・実習/8単位以下	環境デザイン演習(建築デザイン)	SR	8	●	●
合計単位数(15単位以上で実務経験1年、30単位以上で2年)					16	30

※1「環境デザイン実習Ⅰ～Ⅳ(インターンシップ/建築)」の受講には所定の手続きが必要です。詳しくはシラバスを参照のこと。

※2「環境デザイン特論Ⅳ-1,2」(各2単位)または「環境デザイン特論Ⅳ-3,4」(各1単位、合計2単位)のいずれかの2単位が必要です。

### (2) インターンシップガイダンス(必須)

「環境デザイン実習Ⅰ～Ⅳ(インターンシップ/建築)」の受講に際して、インターンシップガイダンスへの出席が必須となります。ガイダンスは以下の通り行いますので、建築士資格の登録要件を希望する方は必ず出席してください。※詳しくはシラバスを参照のこと。

京都：4月5日(日)13:00～(予定) ※所要時間:60分程度(希望される人数によって異なります)

## 6-3. 芸術教育士課程

本学大学院芸術研究科(通信教育)芸術環境研究領域 芸術教育分野・芸術環境計画分野(2018年度以降入学生)では所定の単位を修得し、大学院を修了すると芸術教育士の資格を取得することができます。

### (1) 芸術教育士の資格

芸術教育士の資格は、芸術活動を通じて個人やグループの文化創出の力を育てるための能力を認定するものです(本学が認定する独自の資格です)。芸術には元来自己教育という含意があります。美的な鑑賞物を制作する「芸術家」というよりも、芸術の持つ教育的側面に重きを置き、芸術によって人間の成長や文化的交流の場を作るような人材を指す呼称として、「芸術教育士」を用いています。その認定する能力には以下の諸段階を設けており、それぞれ芸術教育士の3級、2級、1級に相当します。

芸術教育士3級	他者と共に文化的価値の創出を行うという芸術教育の意味を理解したうえで、みずからの習熟する技芸に基づき、地域での芸術教育活動を実行できる能力。
芸術教育士2級	さまざまな模範的な事例を参考にしつつ、みずから地域での芸術教育プログラムを構想設計し、それを主導的に実行する能力。
芸術教育士1級	新たな技法や地域文化資源を独自に発見・研究し、そのもたらす文化的な価値を他者と共有するために教育プログラムを継続的に開発、遂行できる能力。

本学大学院芸術研究科(通信教育)芸術環境研究領域 芸術教育分野(2015年度以降入学生)・芸術環境計画分野(2018年度以降入学生)では所定の単位を修得し、大学院を修了すると「芸術教育士1級」を取得することができます。

### (2) 資格取得に必要な科目

・2019年度以降入学生

芸術教育分野および芸術環境計画分野における修了要件の科目全てを修得すること。

・2018年度以前入学生

芸術教育分野および芸術環境計画分野において以下の①～③の条件を満たすこと。

①「芸術環境特論Ⅳ-1」(2018年度まで開講)または「芸術環境特論Ⅵ-1」を修得すること

②「芸術環境特論Ⅳ-2」(2018年度まで開講)または「芸術環境特論Ⅵ-2」を修得すること

③「芸術環境特論Ⅴ-1」(2018年度まで開講)または「芸術環境特論Ⅵ-3」、「芸術環境特論Ⅵ-4」のいずれかを修得すること

# 7. 学習に関する質問方法

## 芸術環境研究領域、環境デザイン領域、超域プログラム、学際デザイン研究領域

学習に関する質問は、電子メール・FAX・郵送・airUマイページ>コンシェルジュの質問フォームで受け付けます。(学際デザイン研究領域では電子メールまたはコンシェルジュのみ)

### ■電子メール

質問専用アドレス：[question@air-u.kyoto-art.ac.jp](mailto:question@air-u.kyoto-art.ac.jp)

件名 (subject)：「質問：〇〇について」のように、質問の内容(題目)を簡潔に書いてください。

記載内容：「学籍番号」「氏名」「質問内容」

### ■注意事項

- ・データをファイル添付では送らないでください。インターネットのデータ送信サービスなどを利用してください。
- ・機種依存文字は使用しないでください。
- ・質問は1つのメールにつき1件としてください。
- ・担当教員に回答を依頼する場合は、返信には1週間程度かかる場合がありますので、時間的に余裕をもって質問をしてください。

### ■FAX・郵送

『学習ガイド』p.201の「学習・事務手続に関する質問票」を使用してください。

## 美術・工芸領域

学習に関する質問は、FAX・郵送・電子メール・airUマイページ>コンシェルジュの質問フォームで受け付けます。

### ■FAX・郵送

『学習ガイド』p.201の「学習・事務手続に関する質問票」を使用してください。

### ■電子メール

以下の必要事項を明記の上、質問専用アドレス ([question@air-u.kyoto-art.ac.jp](mailto:question@air-u.kyoto-art.ac.jp)) へ送信してください。

件名 (subject)：「質問：〇〇について」のように、質問の内容(題目)を簡潔に書いてください。

メール本文：「学籍番号」「氏名」「質問内容」

### ■注意事項

- ・担当教員に回答を依頼する場合は、返信までに1週間程度かかる場合があります。
- ・質問は1枚の質問票、1つのメールにつき、1件としてください。
- ・作品制作に関する質問の場合、作品本体を大学へ送らないでください(写真などで代替ください)。
- ・メールの場合、機種依存文字は使用しないでください。また、データをファイル添付では送らないでください。

演習・研究科目に関する質問で、各分野担当教員との面談での対応を希望する場合は、対応日や申し込み方法などを確認の上、期日までに申し込んでください。

【対応日】2020年6月～2021年2月(大学休止期間を除く)

※第1・第2希望日に対応できない場合は、日程変更をお願いすることがあります。

【対応時間】一人30分程度、時間はこちらで指定します。

【申し込み方法】FAX・郵送・電子メール・airU上の質問フォームのいずれかで、希望日の10日前までに申し込んでください。

(例：8月28日(金)の面談を希望する場合は、8月18日(火)【必着】までに申し込む)

### ■FAX・郵送

『学習ガイド』p.202の「対面相談申込書(教員・事務局)」を使用してください。希望日は第2希望まで書いてください。

### ■電子メール

以下の必要事項を明記の上、質問専用アドレス ([question@air-u.kyoto-art.ac.jp](mailto:question@air-u.kyoto-art.ac.jp)) へ送信してください。

件名 (subject)：「〇〇分野 面談申し込み」

メール本文：「学籍番号」「氏名」「希望日(第2希望まで明記)」「相談内容」

### ■注意事項

- ・作品制作に関する質問の場合、作品は当日持参してください。大学にお送りいただいても、受け取りやお預かりはできません。



